

■志筑忠雄(中野柳園) 蘭学者。オランダ語翻訳に専念、現行の天文学物理用語、文法語彙から、“鎖国”など一般語まで創出。

しづきただお

大岡忠光没・1760＝ 長崎の一等地で、代々商家を営む中野家に婿入りした文四郎の五男に生まれる。本名は忠次郎。

向いに大通詞吉雄幸左衛門、隣に通詞の名家本木家があるような環境のなか、生来蒲柳の質で、父に可愛がられ、舶来品に満ち溢れた土蔵に連れて行って貰いながら育ち、

吉村久右衛門の漢学塾に学んで、その異能ぶりを見出され、

・ ・ ・ ・ ・ 1769＝ 9歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1770＝10歳：この年、鬼才平賀源内が長崎に遊学してくる。本木家でオランダ語を学び始める。

田沼意次老中1772＝12歳：

解体新書・ ・ 1774＝14歳：この年、「解体新書」出版。

雨月物語刊・1776＝16歳： 稽古通詞に抜擢されるに当り、本木家の幹旋で通詞の家系志筑家の株を買い、8代目志筑忠雄を名乗る。
カピタン屋敷に連れられて行った際、書物部屋があるのを見つけ、暇を見つけては、その蔵書に目を通すうち、使用人に取り押さえられたところを、吉雄幸左衛門に救われ、その下で療養という処分となる。

ヰッ船蝦夷来 1778＝18歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1781＝21歳：その後、吉雄塾の蔵書はもちろん、吉雄の顔でカピタン蔵書も借り出して、乱読を続け、
・ ・ ・ ・ ・ 1782＝22歳：ビードロ細工師に特別注文して作って貰ったガラス管を用い、トリチェルの実験を試みるも失敗するが、
天明大飢饉始1782＝22歳：*「ケイル全書」に夢中になって訳出した最初の書「万国管窺」「動学指南」を著すと、才能が一気に噴出、

田沼意次失脚1786＝26歳：この頃、大槻玄沢と対面。

寛政改革始・1787＝27歳：

異学の禁・ ・ 1790＝30歳：この年、オランダ貿易制限に対する通詞らの意図的誤訳が内通され、吉雄・檜林・本木が入牢となり、
混浴禁止・ ・ 1791＝31歳：最終判決で、3人は役職剥奪の上、蟄居の処分となったことに、衝撃を受ける。

松平定信引退1793＝33歳：
オランダ 正月・ ・ 1794＝34歳：本木良永が死去。久しぶりに吉雄を訪問、「ケイル全書」全訳を「暦象新書」として出すよう激励され、
写楽・ ・ ・ ・ 1795＝35歳：*吉雄の「魯使北京紀行」が完成すると、吉雄の配慮で、志筑忠雄「魯西亜来歴」として、奉行所に納められたことから、名が知られるようになる。

ポルトガル来航・1796＝36歳：この年、蘭船が途絶える一方、吉雄・檜林・本木が蟄居を解かれ、それぞれ翻訳・教育を申し渡される。
古事記伝・ ・ 1798＝38歳：C. ドウエス著作の日本語訳「八円儀及其用法之記」。「暦象新書」上編が完成。
伊能測量始・1800＝40歳：吉雄幸左衛門が死去。
宣長没・ ・ ・ 1801＝41歳：ケンペル著「日本誌」の章の1つを日本語訳した「鎖国論」で“鎖国”という言葉も生んだ。
一九膝栗毛始1802＝42歳：*ついに、「暦象新書」上・中・下編が完成し、ニュートンやケプラーの法則、＋，－，÷，√などの記号を日本に紹介し、“遠心力”“求心力”“重力”“加速”“楕円”という語もつくったが、

この間、病臥するようになり、

青洲麻酔手術1805＝45歳：
ヰッ報復・ ・ 1806＝46歳：*フランス人宣教師が著した旅行記を日本語訳しつつ、自らの意見を強く表明する大部な「二国会盟録」を完成して、没した。